



KOURAKUEN
HOLDINGS



2020年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社 幸楽苑ホールディングス
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 新 井 田 昇
 (東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
 問 い 合 わ せ 先 取締役経営戦略部担当部長 星野 剛
 T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<https://hd.kourakuen.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月9日開催の臨時取締役会において、下記の通り、最近の業績動向を踏まえ、昨年5月10日の2019年3月期決算発表時に開示した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を修正することと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	2,100	2,000	1,100	73.93
今回修正予想 (B)	38,000	600	800	△400	△26.58
増減額 (B-A)	△4,000	△1,500	△1,200	△1,500	—
増減率 (%)	△9.5%	△71.4%	△60.0%	—	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	41,268	1,636	1,587	1,009	67.83

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

(単位：円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,000	160	△80	△5.37
今回修正予想 (B)	12,000	△30	△800	△53.17
増減額 (B-A)	△2,000	△190	△720	—
増減率 (%)	△14.3%	—	—	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	13,657	87	△56	△3.79

2. 修正の理由

売上高は、第2四半期までほぼ当初業績予想の通り推移しておりました。しかし、2019年10月に上陸した台風19号が引き起こした水害により当社郡山工場は操業停止し、同工場管轄店舗の営業が臨時休業するに至りました。当社は速やかに緊急対策本部を設置し、リカバリープランの実行によって約1ヶ月間で全店フル営業を果たしましたが、それまでの休業期間と限定営業期間で大幅な減収に至りました。更に、2020年2月に発生拡大したコロナウイルス事象が要因となり、2月中旬頃からお客様数が急速に鈍化しており、3月は更なる減収が見込まれる状況でございます。

営業利益は、上記要因による減収幅が販売管理費の削減額を上回ったこと、災害費用の一部が販売管理費に計上となったことが要因で減益に至りました。

経常利益は、保険解約金等の営業外収益の計上もありましたが、結果的に減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期に民事調停による和解金152百万円、台風による災害損失期末累計311百万円を計上するに至りました。このような状況の中、当社は「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)への更なる転換を目的とし、収益性に課題のある店舗について減損処理を順次実施し、期末累計で約800百万円となる見込みです。また、収益構造を転換し、更なる構造改革を推進するため、2019年12月より低収益店舗51店舗の閉店を決定し、構造改革費用として111百万円の閉店費用を計上しました。

以上の要因が複合的に重なったことにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上表の通り修正致します。

尚、個別業績予想値も、連結と同様の要因によるものでございます。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想は様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上